

日本学生支援機構大学院第一種奨学金平成 22 年度特に優れた業績による返還免除候補者の募集

希望者は以下を熟読のうえ、申請してください。

■推薦対象者等

- 平成 16 年度以降に大学院第一種奨学金に採用となり、平成 22 年度中に貸与終了した学生又は貸与が終了する見込みの学生で貸与終了時に在学している課程において特に優れた業績を挙げた者。
- 本研究科教務委員会において、申請のあった学生について候補者の選考を行い、本研究科研究科委員会・教授会です承のうえ、「特に優れた業績による返還免除」の候補者として総長へ推薦する。

■評価方法等・・・下記事項を総合的に評価し、推薦順位を決定します。

①大阪大学の選考基準によるもの（別表「評価項目及び評価点」参照）

②生命機能研究科大学院係独自の評価項目によるもの

- 授業科目の成績
- 学位論文の内容・公聴会におけるプレゼンテーション・質疑応答に対する評価
- 指導教授による研究・教育に関わる評価
- これまでの研究内容および今後の進路（研究教育活動への抱負）

※推薦順位の決定にあたっては、1 年次入学者と 3 年次編入学者との間で在学年数の違いによる評価の偏りが生じないように、一定の配慮をしています。

■留意事項【重要！！】

退学（修士号取得退学を含む）、短縮修了見込等により貸与期間内で奨学金を打ち切る場合は、本申請とは別に必ず学生センターで奨学金の異動手続をとってください（印鑑持参のこと）。3 月 14 日（月）までに届け出がない場合は推薦の対象となりません。

■結果の通知

6 月上旬以降、機構から免除者への通知をもって、結果通知といたします。
特に大学院係から結果は通知いたしませんのでご了承ください。

■必要書類・・・各様式は署名・捺印欄を除きワープロ入力可。

1. 業績優秀者返還免除申請書（様式 1-1）（両面印刷）以下の区分で申請してください。

年次	申請区分	留意事項
1～2 年次	修士(博士前期)課程	
3～5 年次	博士(博士後期)課程	学業成績・学会発表等については、修士課程相当（1、2 年次）での実績を挙げるができます。ただし、 ・3 年次編入学した場合は、他大学・他研究科在籍中の業績を含めることはできません。 ・博士論文を評価項目として挙げる場合は、修士論文（中間評価論文）を併せて挙げることはできません。

2. 指導教員等の推薦理由（様式 1-2）

3. 業績優秀者返還免除申請書（生命機能研究科追加様式）

4. 特に優れた業績を証明する資料の[写し]（原本は不要）

※ A4 サイズ・両面コピーで統一し、資料ごとにクリップで留めること（ホチキス留めは不可）。

※「評価項目及び評価点」との対応関係が明確になるよう、資料の右上の余白に[研究科名、学籍番号、氏名、評価項目の番号]を明記すること。

※成績証明書は2学期成績確定後に大学院係で出力するため不要です。

<例>

生命機能研究科 32AXXXX 生命太郎 1-(1)



※評価項目の番号はここを見る
修士論文の場合、1-(1)

別号	業績項目	評価項目及び 学内における評価項目 (大学院における教育研究活動に関する業績)
1	修士論文その他の研究論文	(1)修士論文の審査 ・修士論文の評価 ①評価 A (特に優秀) ②評価 B (優秀) ③評価 C (A,B以外) (2)博士後期・博士医歯学・博士一貫制課程 ・博士論文の評価 ①評価 A (特に優秀) ②評価 B (優秀) ③評価 C (A,B以外) (3)早期学位取得 ①評価 A (特に優秀) ②評価 B (優秀)
2	大学院設置基準第16条に定める特定の課題についての研究成果	(1)特定の研究課題の成果 ①評価 A (特に優秀) ②評価 B (優秀) ③評価 C (A,B以外) 特定の課題についての研究成果の審査を持って修士論文の審査に代えた場合 生命機能研究科は該当しません。

特に優れた業績を証明する資料・・・

論文要旨、学会発表プログラム、発表要旨、
TA・RA 採用通知、表彰状、
ボランティア活動のプログラム など

■提出期限 平成23年2月25日(金) 17:00(厳守) 生命機能研究科大学院係

評価項目及び評価点

業績項目	学内における評価項目 (大学院における教育研究活動に関する業績)	評価点	学外における評価項目 (専攻分野に関連した学外における教育研究活動に関する業績)	評価点
1 学位論文その他の研究論文	(1)修士・博士前期課程 ・修士論文の評価 ①評価 A (特に優秀) ②評価 B (優秀) ③評価 C (A,B以外) (2)博士後期・博士医歯学・博士一貫制課程 ・博士論文の評価 ①評価 A (特に優秀) ②評価 B (優秀) ③評価 C (A,B以外) (3)早期学位取得 ①評価 A (特に優秀) ②評価 B (優秀)	3 2 1 3 2 1 3 2	(4)学術雑誌等に研究論文が取り上げられ高い評価を得た場合 ①評価 A (特に優秀) ②評価 B (優秀) ③評価 C (A,B以外) (5)学会発表で高い評価を受けた場合 ①評価 A (特に優秀) ②評価 B (優秀) ③評価 C (A,B以外) (6)学会等から賞を受けた場合、又は当該研究に関して財団、学会等公的機関より本人が研究資金を得た場合	3 2 1 3 2 1 3 2
2 大学院設置基準第16条に定める特定の課題についての研究成果 (特定の課題についての研究成果の審査を持って修士論文の審査に代えた場合)	(1)特定の研究課題の成果 ①評価 A (特に優秀) ②評価 B (優秀) ③評価 C (A,B以外) 生命機能研究科は該当しません。	3 2 1	(2)学術雑誌等に研究論文が取り上げられ高い評価を得た場合 ①評価 A (特に優秀) ②評価 B (優秀) ③評価 C (A,B以外) (3)学会発表で高い評価を受けた場合 ①評価 A (特に優秀) ②評価 B (優秀) ③評価 C (A,B以外) (4)学会等から賞を受けた場合、又は当該研究に関して財団、学会等公的機関より本人が研究資金を得た場合	3 2 1 3 2 1 2
3 専攻分野に関連した著書、データベースその他の著作物 (前二号に掲げるものを除く。)	(1)単著の著作物が高い評価を得た場合 (2)共著の著作物が高い評価を得た場合 (3)翻訳の著作物が高い評価を得た場合	3 2 2	(4)単著の著作物が高い評価を得た場合 (5)共著の著作物が高い評価を得た場合 (6)翻訳の著作物が高い評価を得た場合	3 2 2
4 発明	(1)特許・実用新案等が優れた発明・発見として高い評価を得た場合	2	(2)特許・実用新案等が優れた発明・発見として高い評価を得た場合	2
5 授業科目の成績	(1)修士・博士前期課程 ・学業成績評価 ①評価 A (優、S、Aが8割以上) ②評価 B (優、S、Aが6割以上8割未満) (2)専門職大学院課程 ・学業成績評価 ①評価 A (特に優秀) ②評価 B (優秀) (3)博士後期・博士医歯学・博士一貫制課程 ・学業成績評価 ①評価 A (特に優秀) ②評価 B (優秀) (4)学術振興会特別研究員(PD・DC)に採用となった場合(内定者を含む)	3 2 3 2 3 2 3	/	
6 研究又は教育に係る補助業務の実績	(1)ティーチングアシスタント又はリサーチアシスタントとして高い実績を得た場合 (2)チューターとして高い実績を得た場合 (3)科学研究費補助金等の研究協力者として高い実績を得た場合	1 1 1	(4)他大学等にて非常勤講師等として高い評価を得た場合	1
7 専攻分野に関連した音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績	(1)学内において高い評価を得た場合	1	(2)国内での発表等で高い評価を得た場合 (3)国外での発表等で高い評価を得た場合	2 3
8 専攻分野に関連したスポーツの競技会における成績	(1)学内において高い評価を得た場合	1	(2)国内での競技会等で特に優れた成績をあげた場合 (3)国外での競技会等で特に優れた成績をあげた場合	2 3
9 専攻分野に関連したボランティア活動その他の社会貢献活動の実績	(1)学内において特に高い評価を得た場合 ※大阪大学、大阪大学内の組織が主催する行事などにおいてボランティアした場合は、こちらに含めてください。	1	(2)国内外において社会的に特に高い評価を得た場合	2

【注意】ある評価項目に対し、複数の業績がある場合でも業績の数だけ評価点が加算されるわけではありません。
 (例)TAとして2回採用された場合、TAとRA両方の業績がある場合など、どちらも場合も評価点は1点となる。

業績優秀者返還免除申請書

(様式1-1表)

平成23年〇〇月〇〇日

独立行政法人
日本学生支援機構理事長
梶山 千里 殿

記入例

提出月日を記入

下記の記載事項に相違ありません。特に優れた業績による返還免除を申請します。

大 学 院 名	大阪大学大学院				
課 程	<input type="radio"/> 修士	該当する課程に○	院課程	<input type="radio"/>	博士（博士後期）課程
研究科名・専攻名	〇〇研究科・〇〇専攻		学 籍 番 号	〇〇〇〇〇〇〇〇	
奨 学 生 番 号	6	0 6	生 年 月 日	昭和〇〇年〇〇月〇〇日	
フリガナ	ハンダイ タロウ				
氏 名	阪 大 太 郎			印	押印
現 住 所	〒		電話番号	()	
卒業後の連絡先	〒			()	

返還誓約書に記入した卒業後の連絡先を記入
※「同上」は不可です。

■大学院における研究課題等

題 目	内 容
概 要	

■教育研究活動等の業績

(○)	学位論文その他の研究業績	()	著書、データベースその他の著作物（前二号に掲げるものを除く。）
()	発明	(○)	授業科目の成績
()	音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績	()	スポーツの競技会における成績
()		()	ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績

記入の際は裏面記載の【記入上の注意】を参照。

記入例

表面の「教育研究活動等の業績欄」該当項目に○印を付した項目について、内容の要旨を800字程度で記入

提出済または予定のいずれかに○印を付し、学生が返還誓約書を学生センターに提出した年月を記入

【返還誓約書の提出について】

に該当するものに○印を記入し、提出日または提出予定日を記載

提出済み 平成 ○○ 年 ○○月 に 大学へ提出済

提出予定 平成 年 月 頃 大学へ提出予定

【記入上の注意】

1. 「現住所」及び「卒業後の連絡先」の欄は、返還誓約書の記載内容と同一とすること。
なお、返還誓約書は学校の指定する所定の期限までに提出すること。
(リレー口座の加入手続は返還誓約書提出前に行うこと。)
(4月1日以降に「卒業後連絡先」に変更があった場合には、返還のてびきの転居届を提出すること。)
2. 「課程」及び「教育研究活動等の業績」欄は該当するものに○を記入すること。
3. 「教育研究活動等の業績」欄に○を付した項目について、裏面にそれらの要旨を800字程度で記載すること。
なお、論文、著書及び受賞については、それぞれ作成又は受賞の年月を記入すること。
また、発表、学会誌等は、その名称、巻、号等を記載すること。
4. 大学院における成績証明書及び特に優れた業績を証明する資料を必ず添付すること。

(注) これは様式1の裏面です。様式1は両面刷りで作成すること。

◆指導教員等の推薦理由

(様式1-2)

奨学生番号	6	0	0	6	学籍番号	
氏名					研究科名・専攻名	

記入例

指導教員が申請者の様式1-1に記入したことの内容についての推薦理由を記入

この学生は、貴機構の特に優れた業績による返還免除に該当していることを認めます。

平成 年 月 日

指導教員が上記内容を記入した

独立行政法人

日本学生支援機構理事長 梶山 千里 殿

指導教員が職名、氏名を記入し、押印

職名

指導教員名

印